

第 5 章

施策 3 基本事業 1

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 30 日
事務事業名	なかひまわりフェスティバル事業				事業類型	補助金	
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る				
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化				
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 なかひまわりフェスティバル事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要							
【全体概要】 市の花である「ひまわり」を那珂総合公園周辺の畑及び那珂IC付近の畑にひまわりを咲かせる。 また、上菅谷駅周辺及び宮の池公園を利用し、新たなイベント(お祭り)を開催する。				【業務内容】 イベント及び花火大会の運営補助及びひまわり畑等の作付け			

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
観光客及び市民						人口(常住人口)	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席、運営支援。						ひまわり作付面積	ha	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
ひまわりの耕作委託に関する事務。 会場までのシャトルバス委託業務。						チラシ作成部数	部	18000.	34500.	34500.	34500.	34500.
						HP更新回数	回	9.	13.	13.	13.	13.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・多くの方に来場してもらい楽しんでもらう。 ・那珂市の良さを知ってもらえるように来場者を増やす。 ・那珂市に訪れてもらうことで市の活性化を図る。						なかひまわりフェスティバル 来場者数	人	29000.	3000.	15000.	15000.	15000.
						市HP閲覧者数(年間)	回	11244.	11762.	11762.	11762.	11762.
						参加団体数	団体	80.	0.	80.	80.	80.
						年間観光入込客数	人	178571.	126975.	330000.	330000.	330000.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	14,520	13,232	16,918	16,918	16,918	16,918	0			
	事業費計(A)	千円	14,520	13,232	16,918	16,918	16,918	16,918	0			
	人件費計(B)	千円	4,300	0.80人	4,895	0.95人	4,895	0.95人	4,895	0.95人		
投入量(A)+(B)		千円	18,820	18,127	21,813	21,813	21,813	21,813				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		旧那珂町の花「ひまわり」(昭和60年制定、現在は市の花)を周知することにより、町をPRする手段として開始した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		多年にわたるPR活動等により、「那珂市のひまわり」は地域住民だけではなく市外の方にも周知され、定番のイベントとして多くの観光客が訪れるようになった。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		近年の酷暑への対応として、実施時期、開催時間の見直し、集客につながる新たな企画の検討が求められている。										

(4) 前回(令和 5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み				
<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <p>3次評価対象</p> <p>B. 改善を検討し、事業継続</p>	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>実行委員会において次年度のイベント見直しを行い、開催場所の変更を行った。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <p><input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円)</p> <p style="padding-left: 150px;">(人件費 0 千円)</p> <p><input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円)</p> <p style="padding-left: 150px;">(人件費 0 千円)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>	

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である</p> <p>・市を代表するイベントであり、イベント及びひまわり畑は、市のPRに欠かせないものとなっている。そのためイベントの実行委員会に市が補助金を出して支援することは妥当である。</p>	<p>□ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p>□ 余地がない</p> <p>■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>会場施設、企画内容を検討することで、より多くの団体が参加できることが見込まれる。</p>	
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p>□ 統廃合の余地がない</p> <p>■ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>□ 廃止・休止の可能性がない</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>猛暑の中での実施や駐車場確保などの課題があることから、統廃合を検討し新たなイベントを開催する。</p>	
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削減余地がない</p> <p>□ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削減余地がない</p> <p>□ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費については、概ね実行委員会への補助金であり削減の余地はない。人件費については、主な業務は実行員会が担い、必要最小限であるため削減の余地はない。</p>	
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である</p> <p>□ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>□ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>実行委員会が参加団体より出店料を徴収しており、適正である。</p>	

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 統廃合
☐ 継続 → ☐ 見直し(改革・改善) → { ☐ 目的の再設定 ☐ 有効性の改善 ☐ 効率性の改善
 ☐ 公平性の改善 }
→ ☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
猛暑の中での開催や駐車場確保等の課題に対して、「なかひまわりフェスティバル」は「産業祭」と統廃合し、開催時期や場所の検討を行い「いい那珂フェスティバル」として実施する。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
猛暑の中での開催や駐車場確保等の課題に対して、「なかひまわりフェスティバル」は「産業祭」と統廃合し、開催時期や場所の検討を行い「いい那珂フェスティバル」として実施する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 28 日
事務事業名	八重桜まつり事業				事業類型	補助金	
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る				
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化				
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 八重桜まつり事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要							
<div> <div> 【全体概要】 日本さくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園で、「八重桜まつり」としてイベントを開催することにより、観光客の誘致及び各種団体の自主活動の活性化を図る。 </div> <div> 【業務内容】 イベントの運営の補助及びまつり期間の公園管理業務 </div> </div>							

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客						人口(常住人口)	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
運営主体となる実行委員会への補助金支出、まつりの共催。 駐車場警備、ゴミ処理、臨時トイレ借上げ等委託契約などまつり開催に伴う事務。						まつり開催日数	日	14.	14.	14.	14.	14.
						イベント開催日数	日	1.	1.	1.	1.	1.
						PR回数	回	19.	15.	19.	19.	19.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・たくさんの方に来場してもらい楽しんでもらう ・観光客を増やす・市民の郷土愛を育む						イベント参加団体数(実数)	団体	107.	128.	128.	128.	128.
						年間観光入込客数	人	178571.	126975.	330000.	330000.	330000.
						八重桜まつりの入場者数	人	24000.	26700.	41000.	41000.	41000.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移												
事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	2,535	2,599	2,658	2,658	2,658	0				
	一般財源	千円	7,628	7,777	8,560	8,718	8,718	0				
	事業費計(A)	千円	10,163	10,376	11,218	11,376	11,376	0				
	人件費計(B)	千円	2,635	0.55人	2,553	0.50人	2,553	0.50人	2,553	0.50人		
投入量(A)+(B)		千円	12,798	12,929	13,771	13,929	13,929					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		・昭和40年に町民の憩いの場を提供するために静峰ふるさと公園を造成以降、観光客誘致のためイベントを開催することになったため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・「日本さくら名所100選」に選ばれたことや、インターネットの普及により地域住民のみならず広くイベント周知ができるようになったことで、県内外から多くの集客を集めることが可能となった。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・八重桜まつりの開催時期に関する意見(桜の開花時期が年々早まっているため) ・平日来場者の増加対策 ・イベント日における県道日立笠間線の渋滞対策										

(4) 前回(令和 5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映) <div> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) </div> <div> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) </div> <div> <input type="checkbox"/> 削減 (人件費 0 千円) </div> <div> <input type="checkbox"/> 増加 (人件費 0 千円) </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </div>
	3次評価対象		
	B. 改善を検討し、事業継続		

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市を代表するイベントのひとつであり、開催場所でもある静峰ふるさと公園は「日本さくら名所100選」に選ばれた市のPRに欠かせない公園である。そのため、八重桜まつりにあたり実行委員会に補助金を出し、支援することは妥当である。
	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 前年度よりは来場者数が増加となったが、コロナ以前の水準には戻っていない状況である。今後も魅力あるコンテンツの創出や積極的なPRを展開し、来場者数の増加を目指すべきと考える。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似する事業はなく、事業の統廃合について検討する余地はない。また、観光PR、市民交流、市民活動団体の停滞につながる恐れがあることから廃止・休止はできない。
	④ 事業費や人件費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費はイベントを安全に開催するために必要な事業のみ実施しているが、会場設営費や警備費等の価格が高騰していることから事業費削減の余地はない。 人件費については職員が一部作業を負担するなど最低限の人員で実施しており、削減の余地はない。
効率性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 条例に基づき、来場者から駐車料金、出店者から公園利用料金を徴収しており、適正である。
公平性 評価		

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 			■ 有効性の改善 □ 効率性の改善

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

R6のイベント時に駐車場の不足等により道路渋滞が発生したことから、警備員の適切な配置や迂回路の検討など必要な対策を行う。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			✕
	低下		✕	✕

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☒ 見直し ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

R6のイベント時に駐車場の不足等により道路渋滞が発生したことから、警備員の適切な配置や迂回路の検討など必要な対策を行う。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

第 5 章

施策 3 基本事業 2

評価対象年度	令和 6 年度		事務事業評価シート			作成日	令和 7 年 6 月 11 日	
事務事業名	いい那珂サイクルプロジェクト推進事業					事業類型	事業の推進	
担当部課G等	企画部 政策企画課			政策企画グループ		記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る					
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用					
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 06	事業名 いい那珂サイクルプロジェクト推進事業	根拠法令	自転車活用推進法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)							
事業概要								
【全体概要】 国及び県の自転車活用推進計画に基づき、那珂市における自転車活用による地域活性化等に向けた取組を総合的・計画的に進めていくため、那珂版自転車活用推進計画を策定し、サイクルツーリズム等を推進していく。					【業務内容】 那珂市自転車活用推進計画(R1-R2策定)の進行管理を行う。那珂市自転車活用推進協議会の開催、サイクルサポートステーションの設置、サイクルイベントの実施、路面標示等整備工事(土木課:道路維持補修事業)、奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会負担金等			

1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民 観光客(サイクリスト)						市民	人	52700.	52365.	51985.	52300.	52000.	
						観光入込客数	千人	179.	120.	330.	330.	330.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・自転車活用推進計画策定 ・PT会議、推進協議会の開催 ・サイクルイベントでの周知PR ・サイクルサポートステーションの設置 ・自転車ネットワーク路線の整備 ・周遊ルートの設定やガイドマップの作成						サイクリングイベント開催数	回	3.	4.	4.	4.	4.	
						ネットワーク路線(市道)整備延長	Km	27.3	29.4	31.8	34.6	38.6	
						サポートステーション設置数	箇所	31.	32.	35.	40.	45.	
								0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
周遊ルートの設定やイベント開催等により、交流・関係人口の拡大を図るとともに、自転車活用の有用性を広く市民生活に浸透させ、安全・快適に走行できる環境整備や自転車を活用した健康づくりを推進し地域活性化を図る。						サイクリングイベント参加者数	人	270.	409.	420.	440.	460.	
						市民の自転車利用率	%	17.61	17.96	22.	24.	25.	
						市内自転車関連交通事故件数	件	6.	12.	5.	5.	5.	
								0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費	
事業内 費 用	国庫支出金	千円	972		657		657		0		0		0
	県支出金	千円	0		0		0		0		0		0
	地方債	千円	0		0		0		0		0		0
	その他	千円	0		0		0		0		0		0
	一般財源	千円	1,029		1,207		1,293		1,686		1,686		0
	事業費計(A)	千円	2,001		1,864		1,950		1,686		1,686		0
	人件費計(B)	千円	4,021	0.61人	3,905	0.65人	3,905	0.65人	3,905	0.65人	3,905	0.65人	
投入量(A)+(B)		千円	6,022		5,769		5,855		5,591		5,591		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ			「那珂ビジョン」に掲げる目的を実現させるため、国及び県の「自転車活用推進計画」に基づき「那珂市自転車活用推進計画」を策定し、サイクルツーリズム等を推進していくこととした。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			自転車活用を総合的・計画的に推進する「自転車活用推進法」が施行され、国及び県においては「自転車活用推進計画」を策定するなど、自転車活用の動きが急速に高まっている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			サイクルツーリズムに特化せず、安全な自転車走行環境の整備や通学路における交通安全の確保を優先すべきとの意見をいただいている。										

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p>	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>サイクルサポートステーションは、利用状況をもて箇所を増やしていく。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <p><input type="checkbox"/> 削減（事業費） 0 千円</p> <p>（人件費） 0 千円</p> <p><input type="checkbox"/> 増加（事業費） 0 千円</p> <p>（人件費） 0 千円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>
---	--	---	--

<p>目的 妥当性 評価</p> <p>有効性 評価</p> <p>効率性 評価</p> <p>公平性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由は何ですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>環境意識や健康意識の高まりとともに、自転車利用者は年々増加傾向にあり、自転車を活用した地方創生の取組も活発化している中、市が主体となって計画を策定し、計画に基づく様々な自転車施策を展開していくことにより、自転車利用環境が向上し、交流人口の創出や地域活性化につながると考えられる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p>	
	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>自転車活用の有用性を広く市民生活に浸透させ、安全で快適に走行できる道路、通学路等の環境整備を進めるとともに、自転車教室の開催や自転車保険の加入促進、健康効果の情報発信等、様々な分野において自転車活用を推進することにより、自転車利用率の増加や交流人口の創出が期待できる。</p>	<p>■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p>	
	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない</p> <p>■ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がない</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>矢羽根の整備については、道路維持補修事業の中で整備しており、本事業では年度ごとの整備箇所の検討のみとなっている。イベントの開催、自転車教室の開催等については、他事業に引き継ぎ調整ができれば統廃合の余地はある。自転車活用促進による地域活性化を進めている中で、事業の廃止・休止の可能性はない。</p>		
	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>安全な自転車利用環境を整え、自転車活用を推進していくためには、ネットワーク路線への矢羽根等の設置やサポートステーションの設置に係る費用については、削減できない。また、イベントの開催に係る経費についても必要最小限としており、事業費の削減余地はない。人件費は、最小限の職員で対応し、イベント時は職員のサイクリストに協力をもっており、これ以上の人件費の削減余地はない。</p>		
	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である</p> <p>■ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>市が民間事業者と連携して行っているイベントについては、参加者が民間事業者に参加料を負担している。また、市が行う事業については、自転車の交通安全啓発や地域活性化等に向けた取組であるため、受益者負担を求めるものではない。</p>	<p><input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p>	

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) } ■ 有効性の改善 □ 効率性の改善	

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

ハード面での環境整備のほか、自転車教室の開催や健康効果の情報発信等、自転車の利用の普及啓発を行い、自転車利用率の増加を図る。イベントや自転車教室等の開催等については、関係する部署との連携や調整を行い、共催や移管等も検討していく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下	×	×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (■ 見直し □ 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)

ハード面での環境整備のほか、自転車教室の開催や健康効果の情報発信等、自転車の利用の普及啓発を行い、自転車利用率の増加を図る。イベントや自転車教室等の開催等については、関係する部署との連携や調整を行い、共催や移管等も検討していく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート			作成日	令和 7 年 5 月 28 日
事務事業名	清水洞の上整備事業			事業類型	維持管理	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る				
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用				
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 清水洞の上整備事業	根拠法令 清水洞の上公園設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ ■ 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要						
<div> <div>【全体概要】</div> <div>豊かな自然が残る清水洞の上地区を、様々な生物が生息し、市民がくつろげ、自然を生かした自然体験学習ができる貴重な場所として整備を進める。</div> </div> <div> <div>【業務内容】</div> <div> ・清水洞の上自然を守る会との連携・公園の維持管理 ・第2次計画区域の整備(凍結) ・用地買収取得 </div> </div>						

1 現状把握の部(DOシート)
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移

		単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び来園者 公園	人口(常住人口)	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.	
	公園面積	ha	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・公園内の維持管理及び清水洞の上自然を守る会との連携 ・既整備地内未買収地の用地取得交渉 ・第2次計画区域(3.7ha)の用地取得及び整備含め凍結	守る会の作業回数	回	22.	24.	22.	22.	22.	
	公園パンフレット作成枚数	枚	1500.	1500.	1500.	1500.	1500.	
	用地取得面積	ha	0.2	0.	0.	0.	0.	
	工事発注件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
清水洞の上地区を知ってもらい観光客を増やす・郷土愛を育む・市民活動の活性化を図る 2次計画区域を整備する※2-2工区を凍結している。	ほたる観賞会来場者数	人	1000.	1000.	1000.	1000.	1000.	
	守る会会員数	人	186.	181.	200.	200.	200.	
	作業参加者数(延べ人数)	人	518.	484.	518.	518.	518.	
	第2次計画区域の整備状況(整備面積)	%	50.	50.	50.	50.	50.	
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費 用	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,006	1,000	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,140	274	1,780	1,780	1,780	0
	事業費計(A)	千円	3,146	1,274	1,780	1,780	1,780	0
	人件費計(B)	千円	1,235	0.25人	2,625	0.55人	2,625	0.55人
投入量(A)+(B)		千円	4,381	3,899	4,405	4,405	4,405	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ		・平成7年3月に制定した「清水洞の上地区整備研究調査報告書」に基づき、整備計画策定委員会を組織して整備に向けた取り組みを開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・「清水洞の上自然を守る会」が発足し、地域住民と市が協働で積極的な管理活動を行っている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・より良い公園にしてほしい・未整備部分の工事着工を早期実現してほしい ・木造製工作物に腐食が見られる ・公園敷地の拡大や、会員の高齢化に伴い維持管理に支障がでないか懸念される						

<p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 </p>	<p> (前回評価結果を踏まえて見直した内容) イベント(ほたる観賞会)の広報協力やパンフレット等の見直しを実施。利用者は前年度と同水準となった。 </p>	<p> (見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </p>
--	---	--

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である 市の公園である「清水洞の上公園」を整備し、維持管理を行うことは妥当である。なお、維持管理については、協定書に基づき「清水洞の上自然を守る会」が行っている。	□ 見直す必要がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっているか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	□ 余地がない 「清水洞の上自然を守る会」の活動については年間事業計画に基づき実施されているが、広報等について公園の魅力を市内外に広く周知することで来園者の増加が見込める。	■ 余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない ● 廃止・休止の可能性がない 類似の事業はなく、統廃合の余地はない。 また、公園の荒廃や観光資源の喪失につながる恐れがあり、廃止・休止の可能性はない。	□ 統廃合の余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック） □ 廃止・休止の可能性がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加（維持）させることはできませんか？●担当者の業務の一部（全部）を民間委託にすることで、担当者の負担（人件費）を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない ■ 人件費の削減余地がない 「清水洞の上自然を守る会」と協働で事業を実施しており、事業費及び人件費は必要最低限の計上額である。よって削減の余地はない。	□ 事業費の削減余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック） □ 人件費の削減余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□ 適正である ■ 受益者負担を求める事業ではない 市民の誰もが利用できる「憩いの場」としての公園整備・維持管理を行う事業であることから利用者に負担を求める事業ではない。	□ 見直す余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) } <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

「清水洞の上公園」の魅力を広く周知するとともに、公園の維持管理を担う「清水洞の上自然を守る会」の活動を支援し、来園者の増加を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☒ 見直し ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

「清水洞の上公園」の魅力を広く周知するとともに、公園の維持管理を担う「清水洞の上自然を守る会」の活動を支援し、来園者の増加を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度		事務事業評価シート				作成日	令和 7 年		5 月	27 日		
事務事業名	白鳥保護事業						事業類型	維持管理					
担当部課G等	産業部 商工観光課				商工観光グループ		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用										
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 白鳥保護事業		根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)						
事業概要													
【全体概要】 古徳沼及び一の関ため池に飛来する白鳥の保護啓発及び古徳沼における見学者のための施設管理						【業務内容】 ・飛来数確認 ・トイレや駐車場の維持管理 ・広報活動							
1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移							単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・市民及び観光客 ・白鳥				最大白鳥飛来数(古徳沼)		羽	238.	266.	266.	266.	266.		
				最大白鳥飛来数(一の関ため池)		羽	40.	54.	54.	54.	54.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・白鳥の餌の確保、ケガをした白鳥の保護 ・古徳沼駐車場及びトイレ維持管理 ・広報活動(ホームページの更新)				市HP更新回数		回	20.	20.	20.	20.	20.		
				餌の譲受回数		回	0.	0.	0.	0.	0.		
				ケガ等による白鳥保護羽数		羽	1.	0.	3.	3.	3.		
				トイレ・駐車場清掃回数		回	75.	73.	73.	73.	73.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
・那珂市の知名度を上げ観光客を増やす。				年間観光入込客数		人	178571.	126975.	330000.	330000.	330000.		
				見学者数(古徳沼)		人	1287.	1060.	1100.	1100.	1100.		
							0.	0.	0.	0.	0.		
							0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移							単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	財源地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他の	千円	0	0	47	47	47	0					
	一般財源	千円	878	1,090	1,221	1,221	1,221	0					
	事業費計(A)	千円	878	1,090	1,268	1,268	1,268	0					
	人件費計(B)	千円	1,430	0.30人	2,375	0.50人	2,375	0.50人	2,375	0.50人			
投入量(A)+(B)		千円	2,308	3,465	3,643	3,643	3,643						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ		古徳沼に飛来する白鳥の保護事業を行っていたことによる。											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		白鳥の飛来する場所が分散傾向にあり、特定の湖沼にて越冬することが減少した。											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・近年の野鳥保護の観点から給餌そのものを取りやめた方が良いとの意見がある。 ・釣の禁止を求める意見(釣り糸等の放置による白鳥負傷があるため)											

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	30 日			
						点検日						
事務事業名	静峰ふるさと公園魅力向上事業					事業類型	施設の整備					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 静峰ふるさと公園魅力向上事業	根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成27 年度 ～ 令和 9 年度)				
事業概要												
【全体概要】 公園利用者の利便性向上に資する公園整備を行うとともに、イベント等のソフト事業の実施を通し、静峰ふるさと公園の魅力向上を図る。					【業務内容】 ソフト事業 ・イルミネーション ・野外映画上映会 ・ノルディックウォーキング 等							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光来訪者						人口(常住人口)	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・検討委員会において、公園整備内容及びイベント実施等の検討を行い、遊具や施設の整備、樹木更新やソフト事業を展開する。 ・地域おこし協力隊の活用						イベント開催回数	回	13.	12.	12.	12.	12.
						観光PR実施回数	回	29.	36.	36.	36.	36.
						検討委員会開催数	回	1.	1.	1.	1.	1.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
公園の魅力向上を図ることにより、来園者を増加させ、市内外の交流人口の増加、市の知名度の向上を目指す。						年間来場者数	人	69867.	75550.	85000.	90000.	95000.
						更新した樹木数(桜)	本	0.	0.	0.	0.	0.
						年間観光入込客数	人	178571.	126975.	330000.	330000.	330000.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費 用	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	117,843	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	209,500	
	その他	千円	3,500	3,700	0	0	0	0	0	0	14,000	
	一般財源	千円	7,615	9,338	11,050	12,652	10,860	76,471				
	事業費計(A)	千円	11,115	13,038	11,050	12,652	10,860	417,814				
人件費計(B)		千円	2,923	0.56人	3,901	0.76人	3,901	0.76人	3,901	0.76人		
投入量(A)+(B)		千円	14,038	16,939	14,951	16,553	14,761					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		昭和40年に静峰ふるさと公園を造成し約50年が経過、施設の老朽化及び八重桜の更新の時期を迎えていることや来園者が横ばいで推移していることから、既存の施設を新たな観光資源として創出することが必要である。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		近年、地方創生への施策に重点が置かれ、未来への投資、地方公共団体が実施する自主的・主体的な地域拠点づくりを重点的に支援する傾向がある。H29年に大型遊具設置などリニューアルを実施し来園者が増加している。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		公園整備からの経年により園内施設の老朽化及び八重桜の老木化が進み、来園者から利便性及び景観、また、通年での利活用が望まれる意見がある。										

(4) 前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) イベントの開催時期や内容などについて、静峰ふるさと公園魅力向上委員からの意見を反映させた。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である</p> <p>市の魅力向上の取り組みとして観光資源である「静峰ふるさと公園」を活用したイベント等を開催することにより、交流人口の増加及び知名度の向上を図ることになることから、市が関与することは妥当と考えられる。</p>	
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p>□ 余地がない</p> <p>■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>イベント企画内容や、新たな遊具設置を検討することで静峰ふるさと公園の利用者増が見込まれる。</p>	
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p>□ 統廃合の余地がない</p> <p>■ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>□ 廃止・休止の可能性がない</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>イベント等のソフト事業の展開について、市から民間への移行が考えられる。</p>	
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>□ 事業費の削減余地がない</p> <p>■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>□ 人件費の削減余地がない</p> <p>■ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>現状の事業費及び人件費は、公園の魅力向上を図るためのイベント実施に係る経費や謝礼等必要最小限の費用であるものの、今後、取り組みの主体を民間へ移行するなどし、市の負担割合を軽減する余地がある。</p>	
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である</p> <p>□ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>□ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>民間が公園を利活用する際、条例に基づき使用料を徴収している。</p>	

有効	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p> <p>イベント企画内容や、新たな遊具設置を検討することで静峰ふるさと公園の利用者増が見込まれる。</p>

性 評 価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	イベント等のソフト事業の展開について、市から民間への移行が考えられる。	

効率性評価	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>● 成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加（維持）させることはできませんか？ ● 担当者の業務の一部（全部）を民間委託にすることで、担当者の負担（人件費）を減少できませんか？ ● 事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p>
	<p>現状の事業費及び人件費は、公園の魅力向上を図るためのイベント実施に係る経費や謝礼等必要最小限の費用であるものの、今後、取り組みの主体を民間へ移行するなどし、市の負担割合を軽減する余地がある。</p>		

公平性評価	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p>
	<p>民間が公園を利活用する際、条例に基づき使用料を徴収している。</p>	

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

☐ 終了
☒ 継続

☐ 廃止
☒ 見直し(改革・改善)

☐ 休止

☐ 統廃合

☐ 目的の再設定
☐ 公平性の改善

☒ 有効性の改善

☒ 効率性の改善

☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

公園の魅力向上に向け、これまでの遊具等のハード整備に加え、試行してきた各種イベントの成果等を踏まえ、今後の効果的な取り組みに向け、財源等も見据えた中で事業内容の見直しを行う。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載
☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☒ 見直し ☐ 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)
 公園の魅力向上に向け、これまでの遊具等のハード整備に加え、試行してきた各種イベントの成果等を踏まえ、今後の効果的な取り組みに向け、財源等も見据えた中で事業内容の見直しを行う。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))
☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	27 日			
事務事業名	いい那珂産品開発事業				事業類型	活動支援						
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光G		記入者氏名	中庭 美玲						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業					
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 いい那珂産品開発事業	根拠法令	いい那珂産品開発補助金交付要綱					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 特産品の流通を通じた市の認知度向上や地場産業の活性化を目的として、事業者が行う商品の開発や改良等に係る費用の一部を市が補助し、付加価値の高い商品づくりの促進を図る。					【業務内容】 事業者が行う新規商品の開発または既存商品の改良、改善等に係る費用の一部を市が予算の範囲内で補助する。 1件当たりの補助金の上限は1,000千円							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内産の資源を活用した産品開発を行う事業者						うまいもんづくりプロジェクト 会員数	人	22.	24.	24.	24.	24.
						特産品ブランド認証事業者 数	人	17.	17.	18.	19.	20.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
補助希望事業者を募集し交付する						申請件数	件	1.	8.	10.	10.	10.
						交付決定額	千円	1000.	2852.5	3000.	3000.	3000.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
那珂市を代表する「いい那珂産品」数の増加						開発商品数	品	1.	9.	10.	10.	10.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	389	2,199	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	389	2,199	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	0.00人	1,770	0.35人	1,770	0.35人	1,770	0.35人		
投入量(A)+(B)		千円	389	3,969	1,770	1,770	1,770	1,770				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		市を代表する特産品等を開発するにあたり、将来的に開発したものが市のPR等に寄与すると考えられることから、市が開発事業費を一部補助する必要があると判断したため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		道の駅整備における基本計画が策定され、直売施設における市の特産品等の販売に向け、現段階から産品開発を始める必要がある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		産品開発に意欲的な事業者も一定数おり、事業の継続希望が挙げられている。										

第 5 章

施策 3 基本事業 3

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	27 日			
						点検日						
事務事業名	団体補助事業					事業類型	補助金					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名		3 観光情報の発信									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 団体補助事業	根拠法令	那珂市補助金等交付規則					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 那珂市の観光振興のための各種イベントの主催・共催並びに広報活動・観光施設整備等に対して助成を行う。					【業務内容】 ・観光協会の事務・各種イベント(八重桜まつり、月見の会、なかひまわりフェスティバル等)の実施及び観光PR活動等の実施。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客						人口(常住人口)	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
						観光協会会員数	人	215.	220.	222.	225.	227.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・補助金を交付することによりイベント主催・共催・後援、観光PR活動、観光地保全及び整備を実施する。						主催・共催したイベント数	回	1.	2.	1.	2.	1.
						観光PR実施回数	回	68.	51.	55.	55.	55.
						観光協会HP更新回数	回	173.	247.	250.	250.	250.
						観光案内看板設置箇所数	箇所	22.	22.	22.	22.	22.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客に当市を知ってもらい観光客を増やす						年間観光入込客数	人	178571.	126975.	330000.	330000.	330000.
						年間観光協会HP閲覧数	回	1495286.	1156463.	1200000.	1200000.	1200000.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	0	0	
	人件費計(B)	千円	3,706	0.93人	2,850	0.70人	2,850	0.70人	2,850	0.70人		
投入量(A)+(B)		千円	7,206	6,350	6,350	6,350	6,350	6,350	6,350			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		観光振興と文化の発展を図るため昭和31年に発足した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		SNS等の普及により、市内外の住民に情報を周知できる機会が増えた。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、人々の外出機会やイベント需要が増えた。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		案内看板等の設置、ホームページの最新情報掲載、自主財源の確保・法人化、市内を周遊できるようサイクリングコース整備等の意見がある。										

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>各種広報媒体へイベント等の情報提供を行うとともに、新たにSNSの運用を開始し、PR活動の強化を図った。また、グッズのリニューアル及び宣伝を行うことで自主財源の確保に努めた。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 削減（事業費） <div style="margin-left: 10px;"> 0千円 （人件費）0千円 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 増加（事業費） <div style="margin-left: 10px;"> 0千円 （人件費）0千円 </div> </div> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>
---	---	--	--

<p>目的・妥当性・評価</p> <p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市観光協会の事業は、市の実施するイベントや観光PRと密接に関連しており、観光の振興を図るうえで重要な役割を担っているため、市が支援し、事務局を担うことは妥当である。</p>
<p>有効性・評価</p> <p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>他市町村とのイベントの差別化を図るとともに、SNSや各種広報媒体を使用し、市のPRを強化していく。</p>
<p>有効性・評価</p> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業及び団体はないことから、統廃合の余地はない。 廃止または休止した場合、イベント内容の縮小や集客力の低下につながる可能性があることから、廃止の余地はない。</p>
<p>効率性・評価</p> <p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費については適切に補助しており、事業費削減の余地はない。 人件費については最小限の人員で対応しており、削減の余地はない。</p>
<p>公平性・評価</p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>受益者は補助金のみならず、自らの事業収入及び会費の徴収により、団体を運営しており、受益者負担割合は適正である。</p>

※担当課長、グループ長、担当者が記載

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合
☒ 継続 → ☒ 見直し(改革・改善) → {
 ☐ 目的の再設定 ■ 有効性の改善 ☐ 効率性の改善
 ☐ 公平性の改善
 }
 → ☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 市内外問わず多くの方にイベントや観光施設を知ってもらうため、様々な広報媒体へ積極的な情報発信を行う。特にSNSを活用し効率的かつ最新の情報提供を行う。
 観光協会活性化のため、新規会員加入案内、自主財源の確保に努める。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			⊗
	低下		⊗	⊗

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (■ 見直し ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 市内外問わず多くの方にイベントや観光施設を知ってもらうため、様々な広報媒体へ積極的な情報発信を行う。特にSNSを活用し効率的かつ最新の情報提供を行う。
 観光協会活性化のため、新規会員加入案内、自主財源の確保に努める。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)